



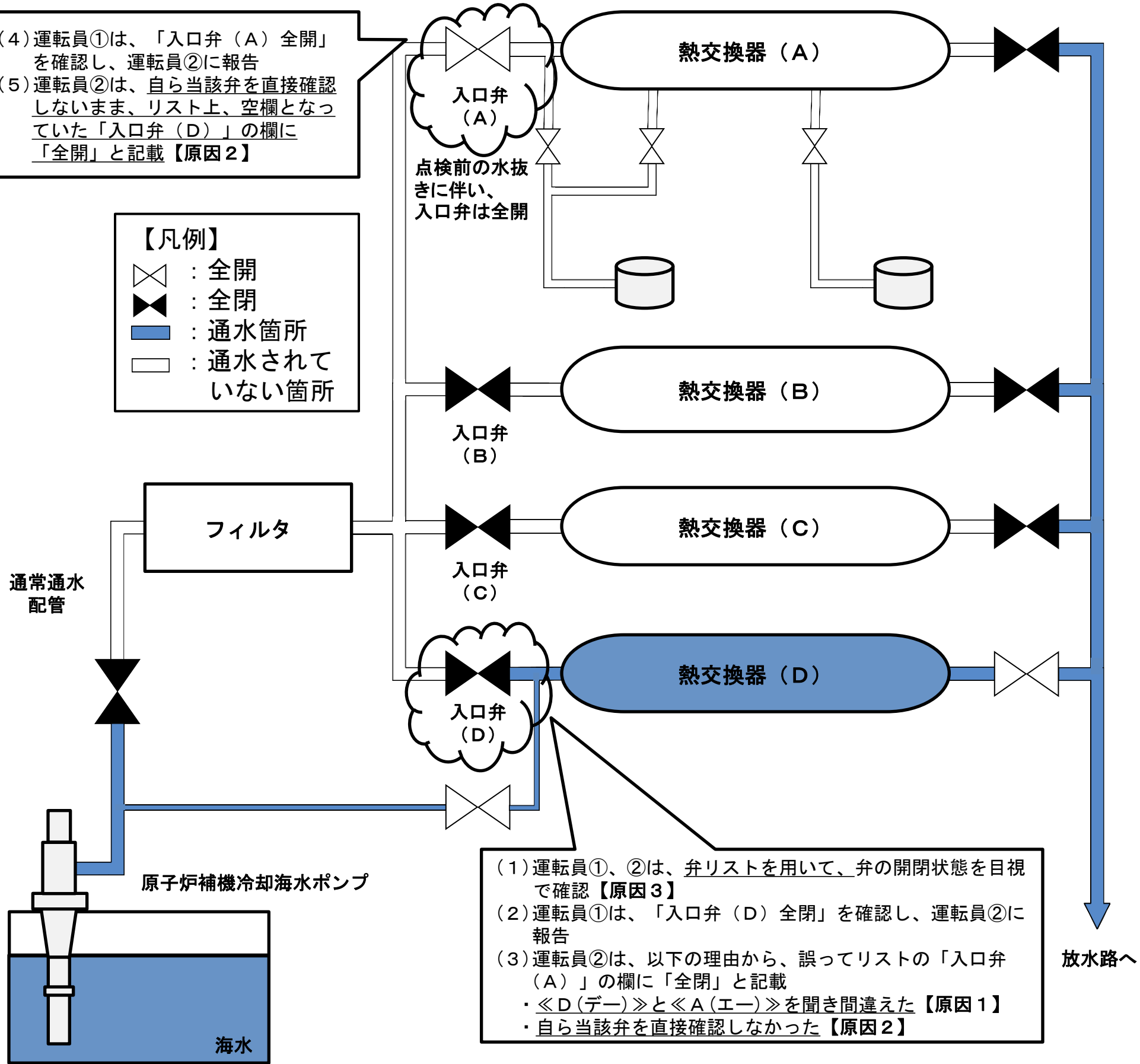


女川原子力発電所 1号機における海水漏えいの経緯
(11月25日) [通水前の現場確認時]

(4) 運転員①は、「入口弁(A)全開」を確認し、運転員②に報告
(5) 運転員②は、自ら当該弁を直接確認しないまま、リスト上、空欄となっていた「入口弁(D)」の欄に「全開」と記載【原因2】

【凡例】

-  : 全開
-  : 全閉
-  : 通水箇所
-  : 通水されていない箇所

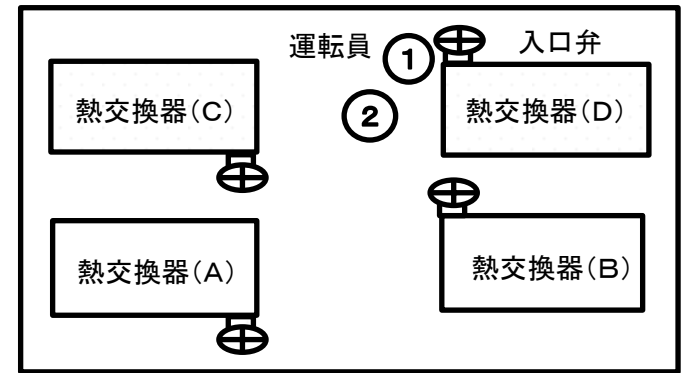


点検前の水抜きに伴い、
入口弁は全開

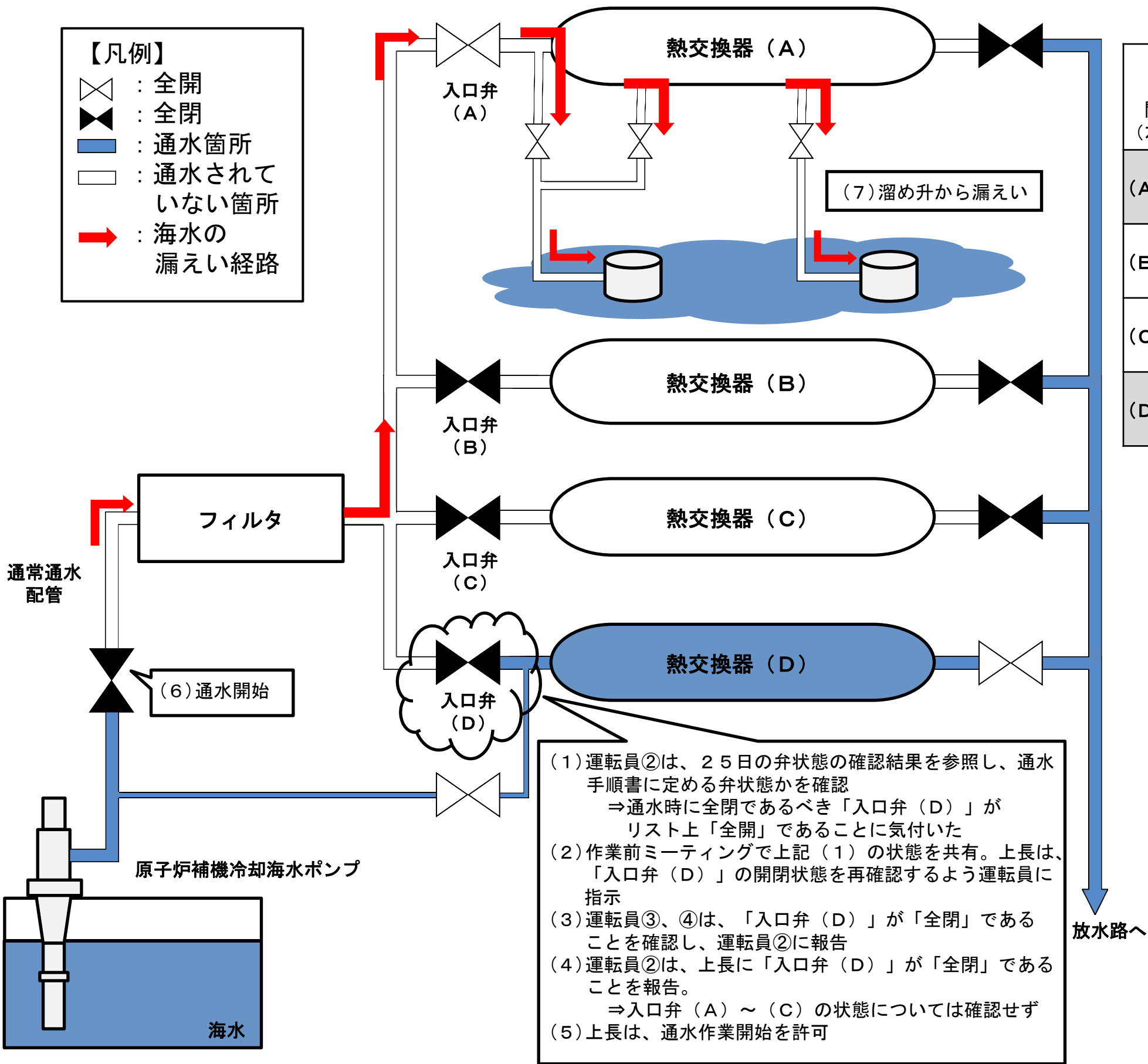
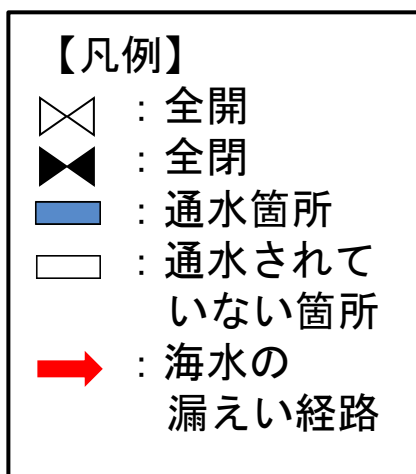
(1) 運転員①、②は、弁リストを用いて、弁の開閉状態を目視で確認【原因3】
(2) 運転員①は、「入口弁(D)全閉」を確認し、運転員②に報告
(3) 運転員②は、以下の理由から、誤ってリストの「入口弁(A)」の欄に「全閉」と記載
・《D(デー)》と《A(エイ)》を聞き間違えた【原因1】
・自ら当該弁を直接確認しなかった【原因2】

実際の入口弁開閉状態 (左図参照)	運転員①の報告	運転員②によるリスト上の記載
(A) 全開	全開	全閉
(B) 全閉	全閉	全閉
(C) 全閉	全閉	全閉
(D) 全閉	全閉	全開

熱交換器室概要図(平面図)



女川原子力発電所 1号機における海水漏えいの経緯
(11月28日) [通水時]



	実際の 入口弁 開閉状態 (左図参照)	リスト上の 状態 (11/25確認 結果)	通水手順書 に定める 通水前の弁 状態	現場での 再確認結果
(A)	全開	全閉	全閉	—
(B)	全閉	全閉	全閉	—
(C)	全閉	全閉	全閉	—
(D)	全閉	全開	全閉	全閉

(1) 運転員②は、25日の弁状態の確認結果を参照し、通水手順書に定める弁状態を確認
⇒通水時に全閉であるべき「入口弁(D)」がリスト上「全開」であることに気付いた

(2) 作業前ミーティングで上記(1)の状態を共有。上長は、「入口弁(D)」の開閉状態を再確認するよう運転員に指示

(3) 運転員③、④は、「入口弁(D)」が「全閉」であることを確認し、運転員②に報告

(4) 運転員②は、上長に「入口弁(D)」が「全閉」であることを報告。
⇒入口弁(A)～(C)の状態については確認せず

(5) 上長は、通水作業開始を許可

放水路へ